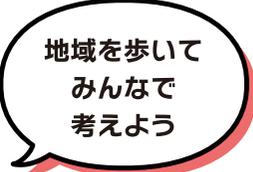




あるく



2号「あるく」2023年11月

vol.02

お任せ民主主義から、
一歩、一歩、民主主義を
バージョンアップしよう！

原発の再稼働をするか、
しないかだって、
私たちの投票で決めよう！

つくばみらい市の皆様へ ご協力をお願い

東海第二原発の再稼働に対して、県民の意思表示で決めようとする「いばらき原発県民投票の会」です。地域でも仲間の会をつくり、県全体を盛り上げていこうということで、市内在住者により6月11日に「つくばみらい市原発県民投票の会」を設立しました。小さな会をつくり活動を始めています。基本的に第2日曜日の午後、みらい平コミュニティセンターで、お茶を飲みながらの例会をし、それぞれができる範囲で活動していますので、どうぞ気軽にお立ち寄りください。署名活動だけはできるという形での協力も可能です。

これまでに、みらい平駅前などで「シール投票」を3回、7月にはミニ機関紙「あるく」創刊号を、駅前や会合などで配布。直接の活動の参加者は現在10名ほどですが、協力者も広がっています。今後は、来年の市議選(2月4日投票日)終了後に始まる、直接請求の署名期間(2ヶ月)に向け、県民投票の協力者を増やす活動を行う予定です。前回の県民投票の経験がない方もある方も、多くの皆様の力が必要になります。重要なことはおまかせではなく、私たちの意思で決めませんか？



皆様のご参加をお待ちしています!!

[活動報告]

意思表示しようぜ！ 県民フェス

9月3日 / 水戸市生涯学習センター

「川内原発県民投票(鹿児島県)の会」の、県民投票への取り組みについての報告があり、その中で茨城県の活動報告書がとても参考になったという話がありました。参加者は50人で、後半は地域ごとに別れて今後の取り組みについて活発な話し合いが行われました。



[メディア掲載] 週刊金曜日9・15日号に掲載されました

「意思表示しようぜ！フェス」

東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會
東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會
東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會
東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會

東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會
東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會
東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會
東海第二原発再稼働賛否は「県民投票で決めよう」と市民集會



県民投票実現に向けて「再始動」を確認した集會参加者。(撮影/海月崇友)

「県民投票」についてのご質問、会の活動についての資料などをご希望の方は下記までご連絡下さい。

○つくばみらい市原発県民投票の会
連絡先：090-8580-1288 (野口修)



○いばらき原発県民投票の会
http://ibarakitohyo.net
e-mail : ibarakitohyo@gmail.com

[報告]

大きな局面
を迎えた



東海村議会の委員会の 傍聴に行ってきました

東海村議会の「原子力問題調査特別委員会」傍聴 9/21
「東海第二原発の早期再稼働を求める請願」の審議

この請願は、令和3年4月30日に出され、村商工会からの早期再稼働を求めるものです。趣旨は「村内の商工業の経済振興のためには原発の再稼働が必要だ」という経済的な問題が中心。「東海村は原発と共に歩んできたこれまでの経済の維持と、これからの発展のためには早期の再稼働が必然である」そのためには、関係機関に早期に再稼働するように意見書を提出をという請願です。令和3年から継続的に審議・調査をしていて今回採決にあたり、結果は賛成多数(賛成7・退席2・反対4)で採択されました。主な意見は下記の通りです。

<賛成意見>

- 安全性が高まっている。エネルギー資源に寄与できる。
- 運転停止以来、村内経済は厳しい状況になっている。雇用の維持に必要。
- 地球温暖化対策には、脱炭素の実現が必要。そのために原子力が必要。

<反対意見>

- 原子炉圧力容器の中に安全性がない。劣化したケーブルを置き換えることもできない
- 事故が起きれば大変な事態になる。
- 現在の広域避難計画では13000人の避難先は見つかっていない。

12月の議会の本議会で可決して意見書が提出されれば、3.11以後、東海第二原発停止後の東海村の初めての意見表明となります。東海村の議会議員選挙が来年1月にあることから、その前に結論を出すという一つの流れではあるが、このような結論でよいのであろうか。(野口修)

[活動報告]

みらい平駅前 シール投票!

7/23(日)16:00~18:00

知事や議会に任せる

東海第2原発の
再稼働
誰が決めるのが
よい?

県民投票で
意思表示



7/23(日)に「つくばみらい市原発県民投票の会」で、みらい平駅で2回目のシール投票を行いました。平日に比べると日曜日は乗降者は少なめですが、全体にゆっくりしていて足を止めてくれる方も多かったです。東海村JCOの臨界事故(1999年)時に、たまたま仕事で訪れ遭遇して、帰れなくなった経験を話してくれた人もいました。親子連れの方も多く、いろいろ考えながらシールを貼っていただきました。「知事・議会に任せる」が1加わり、「県民投票で意思表示」が10加わり2対25に増えました。本誌「あるく」創刊号も配布しました。ご協力ありがとうございました。今後も、駅前や市内でのイベントなどで活動していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

